



2025年度年末手当 JR労働者の想い ② 全社員一律3.7ヶ月を支給するべきだ！

- 基本給は増えているはずなのに、物価が上がってお金がない。会社でやることは増えているし、ボーナスを多くもらえないといやる気が出ない。やるべきことを社員みんなでやってきたのだから、年末手当は一律支給であるべきだ。（上信越）
- 経営側が「当たり前を超えていく」と社員に求めるのであれば、経営側もボーナスに対して当たり前を超えるのが筋である！（関東）
- 毎回、社員は給与にしても賞与にしても手当にしても抑え込まれている。頑張っているのは紛れもなく現場で働く社員だ。会社幹部は現場に来てはいるが、実態は「勇翔 2034」を語るだけの一方通行である。（関東）
- エルダー社員は賃金が低い。年末手当3.7ヶ月の支給が必要だ！（上信越）
- 夏季手当の2.8ヶ月には多くの社員が愕然として怒りを覚えた。会社の業績は良い。物価高による生活の苦しみや社員と家族の幸せを考えるならば、3.7ヶ月は出せるはず。むしろ足りないくらいだ！（上信越）
- 入社数年の世代で辞める社員が多い。物価も上がっているし、会社の業績も伸びている。その分、しっかり社員に配分して欲しい。（関東）
- 社員みんなが苦労しているのだから、区別なく一律に支給するべき。（上信越）
- これだけ兼務や業務融合が増えている中でボーナスが増えなければ、仕事に対するモチベーションが上がらない。（関東）
- 今は年間6ヶ月でも足りない。年間6.5ヶ月以上は必要だ。物価も毎月様々な物が上がって生活が厳しい。会社の経営状況は好調である。組織再編や「人事・賃金制度」を見直すのであれば、3.7ヶ月を出してもらいたい。「勇翔 2034」で壮大なことを会社は言っているが、会社のめざすことや社員に求めることは大きいのに、ボーナスが低かったらやる気が起きない。（上信越）
- 来年から「人事・賃金制度」が変わることになれば将来に不安を感じる。業績は好調なのだから出せない理由はない！（上信越）
- 会社が提案している新制度では、区分6でも現在の昇給額に届かず基本給が上がらない。社員にとってボーナスがより重要となり、今以上の月数回答が必要になる。（上信越）

**第2四半期決算は增收増益！通期業績予想を上方修正！
3.7ヶ月要求満額を勝ちとろう！**